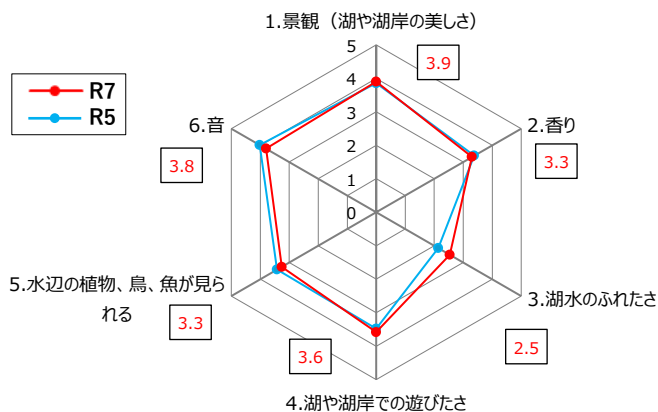


霞ヶ浦ふれあい指標 ～令和7年度評価結果～

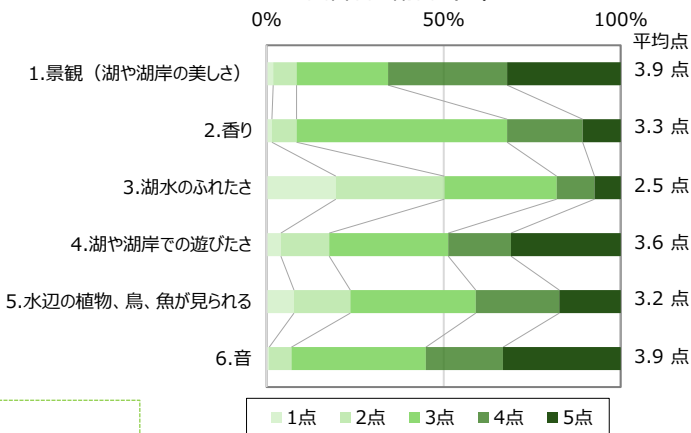
感覚による評価

評価結果：やや親しみやすい環境 [20.4点 (30点満点)]

- 令和5年度に比べ、大きな変化はなく、「湖水のふれたさ」が3点を下回っているが、その他の項目では3点以上の結果となった。
- 「湖水のふれたさ」では、モニター約5割が2点以下をつけているが、他の項目では半数以上が3点以上をつける結果となった。



回答者の割合 (%)



回答件数

【R7】 回答件数 271件 [春季 67件、夏季 61件、秋季 77件、冬季 66件]
【R5】 回答件数 172件 [夏季 51件、春季 63件、冬季 58件 (R5は春季なし)]

モニター数 [R8.4.1時点] 63名

豊かさの評価

評価結果：恩恵をよく受けている [67点 (90点満点)]

- 令和7年度は、令和2年度に比べ、「農業、水道用水量 (作る・獲る・食べる) 」や「サイクリスト等 (遊ぶ) 」の評価点が高い結果となった。
- 「水辺の利用者数 (遊ぶ) 」では、令和2年度に比べ低い結果となっており、中でも「釣り」の利用者数が大きく減少している結果となった。

学ぶ



霞ヶ浦環境科学センター

博物館等の来館者数 (千人)

207千人 [R2: 197千人]

水辺の利用者数 (千人)

1,427千人 [R2: 2,725千人]

観光入込客数 (千人)

2,272千人 [R2: 2,162千人]

サイクリスト等の人数 (千人)

132千人 [R2: 93千人]

ガン・カモ・ハクチョウ類の生息種数 (種)

19種 [R2: 18種]

魚の種類 (種)

24種 [R2: 24種]

農業用水量 (万m3)

59,200万m³ [R2: 43,920万m³]

工業用水量 (万m3)

1,7618万m³
[R2: 18,493万m³]

水道用水量 (万m3)

10,098万m³
[R2: 9,293万m³]

見る



カモ類



ワカサギ

作る・ 獲る・ 食べる

遊ぶ



釣りの様子



霞ヶ浦総合公園



※ 統計値は評価した年度 (R2、R7) 時点の最新データを用いている。

霞ヶ浦ふれあい指標 (総合評価)

・感覚による評価

評価結果	評価点 [30点満点]
とても親しみやすい環境	26点以上
親しみやすい環境	21点以上26点未満
やや親しみやすい環境	16点以上21点未満
やや親しみにくい環境	11点以上16点未満
親しみにくい環境	6点以上11点未満

・豊かさの評価

評価結果	評価点 [90点満点]
恩恵をとてもよく受けている	75点以上
恩恵をよく受けている	59点以上74点以下
恩恵を受けている	42点以上58点以下
恩恵が少し減少している	26点以上41点以下
恩恵が減少している	9点以上25点以下

【令和7年度評価結果】

やや親しみやすい環境で、恩恵をよく受けている

[20.4点]

[67点]

霞ヶ浦は濁っているのか？

令和7年度は、多くのモニターの方から「濁っている」とのコメントをいただきました。
「そもそも、霞ヶ浦は濁っているのか」、「なぜ、霞ヶ浦は濁っているのか」についてご説明します。

水の濁り具合を表す指標には濁度や透明度などがあります。現場で測定を行う透明度を指標に霞ヶ浦の濁りを見てみましょう。

霞ヶ浦の透明度は？

○透明度：水の透明さを表す指標※1

透明度板（セッキ板）を水中に沈めて、上から見えなくなるまでの深さと、再び引き上げて見え始める深さを測定します。

○霞ヶ浦（西浦）の透明度（令和7年度）：0.7 m※2

→ **霞ヶ浦は、平均水深が4 mと浅く、濁りやすい湖**

（参考）琵琶湖（北湖）の透明度※3：6.0 m（令和7年度）、琵琶湖の平均水深：41m※4

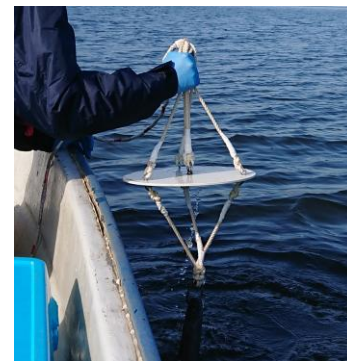


図 透明度測定の様子

透明度が低くなる原因は？

透明度が低くなる原因については、以下のことが考えられます。

- 風による底泥の巻き上がり
- 植物プランクトンの増殖

→ 主に、風による底泥の巻き上がりが原因ですが、植物プランクトンが多い季節などは透明度が低くなることがあります。

風による底泥の巻き上がり

- ・湖水面上で風が吹くと、表面の水が風を押されて風下方向へ移動する流れ（吹送流）ができます。
- ・霞ヶ浦は水深が浅いため、吹送流などにより上下方向の水の循環が起こりやすく、**特に風が強いと底泥の堆積物が巻き上がり、透明度が低くなります。**※5

植物プランクトンの増殖



植物プランクトンとは？

光合成をするものを植物プランクトンといいます。霞ヶ浦には**350種以上**の植物プランクトンが存在しています。

- ・湖内では、河川からの流入や底泥からの溶出により供給される**窒素やリンを栄養源として植物プランクトンが増殖**します。
- 植物プランクトンが大量に増殖すると、**水中の浮遊物質が増加し、光が散乱されることにより、**水中の深いところに光が届かなくなるため、透明度が低くなります。

※1：沿岸透明度の目標設定ガイドライン（環境省）

※3：令和7年度公共用水域水質調査結果の概要（滋賀県）

※5：霞ヶ浦の濁度上昇と底泥巻き上げ現象 関智弥、福島武彦ら（2006）

※2：霞ヶ浦モニタリング調査結果（茨城県霞ヶ浦環境科学センター）

※4：琵琶湖の概要 | 滋賀県ホームページ